

# みぎの 大富山美佐野街道コース

【距離:約2,300m 標高差:約140m】



ハルリンドウ



## ④「塞神峠」の石仏

天正10年(1582)本能寺の変により実弟森蘭丸を失った兼山城城主森長可は東濃平定にのりだし、天正11年(1583)久々利の土岐氏を下し、塞神峠を越えて土岐に攻め入り、大富山に陣を張り、土岐川を渡り、高山城の平井頼母・妻木城の妻木喜太郎を降伏させた。

塞神(さいじん、さえのかみ)：他からの侵入を防ぐ神



ミカワバイケイソウ



中山古墳前面

## ③中山古墳 (山根古墳)

外径17メートル、高さ約3メートルの円墳。盛土は長い年月の間かなり流失し「羨道部」はほとんど失われており、「石室」入り口の巨石が露出しているが、山を打ち欠いて円形にした痕跡や、周りの溝や外護列石などは現在も確認できる。石室は正式調査はされていないが、幅約3メートル、長さ約7メートル、高さ約2メートルほどの空間が認められる。(土砂が堆積しているため、実際はもっと深いと推測される)



ミツバツツジ

## ②白山神社の天然記念物 ハナノキ、ヒツバタゴ



ハナノキ



シデコブシ



白山神社のヒツバタゴ



## ①「馬頭観音菩薩像」

享和2年(1803)、「美佐野街道」の「<sup>よぎとぎ</sup>斧研池」の西端に有った馬の「やいと場」に設置されていたが、その後 窯公園北へ移された。「美佐野街道」は、中央本線が中津川まで開通する明治35年(1902)まで、土岐津の高山と御高とを結ぶ重要な道路であった。この地域で生産される年貢米や、焼き物、特産物などを木曾川沿いの「野市場」や「新村湊」まで馬車や荷車で運んだ。







ヘビノボラズ(蛇登らず)



トキソウ(朱鷺草) 絶滅危惧種

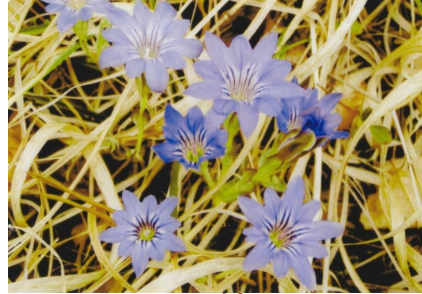


ミヤマウメモドキ(深山梅擬)



ミツバツツジ(三葉躑躅)

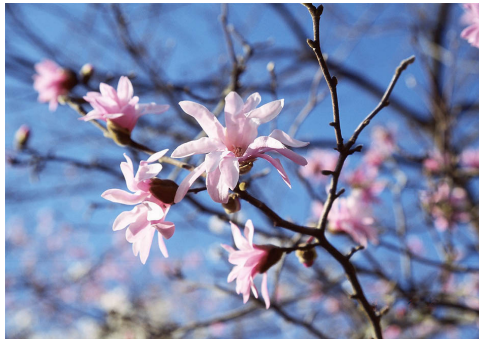
湿性植物の宝庫



ハルリンドウ(春竜胆)



ノカンゾウ(野萱草)



シデコブシ(四手拳) 絶滅危惧種



サギソウ(鷺草) 絶滅危惧種



ベニドウダン(紅満天星)

大富山



ダンコウバイ(檀香梅)



ツクバネウツギ(衝羽根空木)



モウセンゴケ(毛氈苔)



カキラン(柿蘭)



ホザキノミミカキグサ  
(穂咲きの耳搔草)



コバギボウシ(小葉擬宝珠)



ギフチョウ(岐阜蝶)



サワヒヨドリ(沢鶉)



イワショウブ(岩菖蒲)